



学校だより

令和7年4月30日(水)
江戸川区立一之江小学校
校長 平川 惣一
5月号

確かな学力の定着に向けて

校長 平川 惣一

江戸川区では定期的に全校共通のドリルテストを行っています。年度はじめ、2年生から6年生が前の学年の算数の内容に取り組み、以下のような傾向がみられました。

- ・2年生：たし算の正答率が高い。毎日の計算カードの取組などにより、素早く正確に計算ができている。文章題の正答率が低い。問題場面をイメージできていない誤答が散見される。絵や図にかいて考えるような指導を進めていく。
- ・3年生：分数の正答率が高い。かけ算九九は7割程度の正答率である。ここでしっかりと定着させ、9割以上の正答率をめざす。水のかさ、長さ、時刻と時間などの正答率が低い。単位をしっかりと理解し反復練習で習得をめざしていく。
- ・4年生：あまりのあるわり算や小数、分数の計算の正答率が高い。小数+小数や分数のたし算の正答率も高い。円と球や円を使った二等辺三角形の作図など図形の問題の正答率が低い。反復練習を通し作図への抵抗感を減らしたい。
- ・5年生：数直線や分数の計算、データの整理については正答率が高い。数の感覚が身に付いているようである。小数のわり算の正答率が低い。家庭とも連携し練習問題に多く取り組むなどしていきたい。また、問題の答え方が分からないという状況もみられたので、問題に慣れるようにしていく。
- ・6年生：小数のわり算や通分が必要な分数の計算などの正答率が高い。分数の通分が必要な帯分数の計算の正答率も高かった。人口密度や速さにかかわる問題の正答率が低い。単位が違う場合の求め方などについて習熟が必要である。

子どもたちが確かな学力を身に付けられるよう取組を進めていきます。

熱中症が心配される時期になってきました。一之江小では江戸川区教育委員会の基準を踏まえ、以下を基本に、学校の状況等を加味して判断、対応します。

○熱中症警戒アラート発出 + 江戸川臨海の暑さ指数(WBGT) 31以上

⇒すべての運動、屋外活動等を中止

○熱中症警戒アラート発出 + 江戸川臨海の暑さ指数(WBGT) 28以上31未満

⇒激しい運動は中止 水泳、休み時間等は休憩や水分補給をしながら実施 運動を除く屋外活動は実施

○熱中症警戒アラート発出 + 江戸川臨海の暑さ指数(WBGT) 25以上28未満

⇒すべての運動は休憩や水分補給をしながら実施 運動を除く屋外活動は実施

◆学校からの配布物のペーパーレス化を推進していく予定です。今後、学校だより、学年だより、保健、給食関係の配布物などについて、随時、紙ベースから「ホーム&スクール」での配信、学校ホームページへの掲載に切り替えていく予定です。もし、受信や閲覧などについて課題があるなどの場合には学校までご連絡ください。(今回の学校だよりは、移行に向けて紙と配信の両方としています)

◆3月に配布させていただきました令和7年度の年間行事予定について、その後の変更はなく確定させていただきます。なお、学校のホームページの【学校生活】>【行事予定】にも掲載しています。

<教育目標>

- 進んで学習する子
- 思いやりのある子
- 明るく元気な子

<5月の月目標>

- 生活指導 元気よくあいさつをしよう
- 保健目標 けがを予防しよう
- 給食目標 好き嫌いをしないで食べよう

学校のホームページでは、学校日記を日々更新するなどしながら、子どもたちの様子、教育活動の実際などをお知らせしています。どうぞご覧ください。